

令和 4年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村 瑞 穂 町

学校名 瑞穂町 立 瑞穂中学校

1 事業目的 協議会名 瑞中芝生サポートチーム

学校と社会教育団体、保護者、地域の方々による校庭芝生の維持・管理活動を連携・協働してできる仕組み作りを推進することで、学校を中心とした地域のコミュニティーを形成するとともに、生徒の心身の成長・発達や地域の教育力の向上を目指す。

2 主な取組と成果

1 5月に行われた体育祭では、コロナ禍の中、感染症拡大防止策を講じて、芝生を利用した競技種目を行うことができた。6月、11月には、PTA厚生委員会の活動で雑草取りを実施することができた。これらの活動を通して、生徒・保護者・地域の芝生に対する理解が深まった。芝生の良さを地域に発信することができた。

2 瑞中芝生サポートチーム会議の定例会議や芝生管理作業講習会、芝生管理作業に対して、保護者や地域の方々に参加していただくことで、芝生の維持管理や指導内容を、共通理解することができた。校庭芝生を年間を通じてよい状態に維持することができた。

3 取組内容

1 瑞中芝生サポートチーム定例会議 第3水曜日(年5回実施)

- ・サポートチームメンバー 14名
- ・主な会議内容 ○維持管理活動の年間計画の検討
○芝生維持管理(芝刈り、種まき)講習会体験会の検討
○交流活動について検討

2 体育祭 5月28日(土)

- ・全校生徒 431名
- ・コロナ禍で競技種目がほぼ走る競技に制限された中でも、芝ソリレースを行うことができた。
- ・各学年男女別に3人一組でチームを編成。女子は4レーン×6レース、男子は4レーン×9レース
- 総勢180名の生徒が競技を行うことができた。
- ・また、学年種目として、大縄跳びを芝生を利用して行うことができた。

3 PTA厚生委員会活動 6月11日(土)・11月6日(土)

- ・保護者・地域・教職員 のべ60名



4 今後について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、【できる活動】をやっていく。
- ・体育祭において、今後も芝生を活用した種目を取り入れていく。
- ・芝生の維持管理講習及び活動のさらなる活性化を図る。
- ・芝生を活用した、地域親睦交流行事の推進を図る。